

## 「Catch Your Dream!

## ～STOP! 江田島の人口減少～」

本単元と関連する9年間で育成する資質・能力

伝え合う力

日 時：令和5年11月17日（金）11：00～11：45

## 1 指導の方向性について

## ○単元観

## 【6学年テーマ 地域での役割】

江田島市は、広島県南部に位置する人口約21000人の市である。国勢調査によると、年齢別人口比（令和元年）で65歳以上が45%を占めており、江田島市は「超高齢社会」であり、人口減少も著しく進んでいる。また、人口流出も発生しており、地域に関わる人材が不足しているという課題がある。江田島の将来の姿を考えると、このままでは、人口減少が続き、江田島市自体の存続にも影響が出てくるといえる。

本単元は、そのような江田島を故郷とする子どもたちが、「今の自分にできること」を考え実践することを通して、江田島の魅力を再認識し、江田島の価値に気付くとともに、協働的に問題を解決することを通して、地域と関わる意義や人生を通して故郷と共生する意味、自分自身の存在意義や価値を自覚することに繋がる単元であるといえる。

## ○児童観（第6学年 21名）

## 【児童の実態】

本学級の児童は、第5学年で「海の環境」をテーマに、海浜清掃など、等身大の自分達にできる海の環境保全に取り組んだ。また、自分達で地域企業と連携し啓発活動にも取り組んだ。地域の実態から課題を見付け、課題解決に向けて学習を進める経験を積み重ねたことで、探究学習の素地は養われている。また、地域のよさを各々で理解することができている一方で、地域について依然として未知なことも多く、地域と深く関わる経験が今後も必要である。

## 【9年間で育成する資質・能力と関連する実態】

## 「主体性」

○目標に向けて、自分から進んで課題に取り組んでいる。  
○もっとよい解決につながるように、相手の意見を大切にしながら協働的に学習に取り組んでいる。

△解決の見通しをもつことが苦手と感じている児童がいる。

△苦手な課題になると、あきらめがちになる児童がいる。

## 「伝え合う力」

○自分の意見等を相手に伝える経験を積み重ねている。

△自己表現時に、相手意識が明確でない児童がいる。

△表現内容を見直すなど、よりよい発信への意識が低い。

## ○指導観

## 【本単元における指導の方向性】

児童主体の『探究的な学び』を実現するために、次の2点に留意して指導する。

## ○本質的な課題解決に向けた「探究のサイクル」の充実

「課題の設定」…江田島の人口に関するデータや新聞記事等を提示し、インフォメーション・ギャップを促すことで、「少子高齢化」などの、未来の江田島に繋がる大きな課題に気付かせたい。また、地域の実態や課題を踏まえて、「自分達が将来の江田島のために今できること」という単元を通じた学習課題を設定する。「魅力発見」「魅力深掘り」「魅力発信」という3つの小単元を設定し、課題解決の見通しをもたせながら、小単元に応じた適切な課題を児童と共に設定していく。

「情報の収集」…インターネットに限定せず、地域の住民へのインタビューやアンケート等も実施し、地域の生の声から情報を得ることができるようにする。

「整理・分析」…整理の視点を事前に明確にしたうえで、KJ法やフィッシュボーン図等の思考ツール等を活用して「比較」「分類」「関係付け」を行う。

「まとめ・表現」…相手意識と目的意識を明確にし、内容を見直したりリハーサルしたりする時間を確保する。

## ○児童のつまづきを想定したファシリテートの充実

主体的に粘り強く学びを進めることができるように、手立てを豊富にして児童の活動をスムーズにするのではなく、可能な限り、児童の意見やアイデアに基づいて学習を進めるようにする。

課題解決に向けた企画立案の際には、「解決への具体的な見通し」→「解決するための条件確認」→「相手の立場や考えを考慮した企画の立案」という流れを明確にすることで、課題解決への道筋を考えやすいようにする。計画を実行した際には、振り返りを通して、つまづいた点を児童と確認をし、再実行に生かすことができるようにする。児童自身で改善案を思案できる場合、問いかけを中心としたコーチングを取り入れた指導に取り組む。思案できない場合は、実施可能な手段を複数提案することで、児童に「選択」と「自己決定」の場を確保できるようにする。

## 2 小・中9年間で育成したい資質・能力

	前期 (小1～小4)	中期 (小5～中1)	後期 (中2～中3)
<b>主体性</b> <input type="checkbox"/> やる気 <input type="checkbox"/> 自主性 <input type="checkbox"/> 課題発見力	自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。		
	身近な人・もの・ことに進んで関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動している。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動するとともに、解決への見通しをもち、他者の考えを受け入れ、よりよい解決を目指している。
<b>伝え合う力</b> <input type="checkbox"/> 表現力 <input type="checkbox"/> 傾聴力 <input type="checkbox"/> 対話力	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の意見を受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。		
	自分の考えや思いを、言葉・絵・動作・劇・資料によって、相手に伝えたり、自分の学習を振り返ったり、自分の学習を振り返ったりすることができる。	伝える内容が、相手に分かりやすく伝わるように、目的に応じて資料を作ったり、複数の資料を組み合わせたりして表現することができる。	目的や相手に応じて、伝える内容を吟味したり、資料を再構成したりして、根拠を明確にして適切に表現することができる。

## 3 単元の目標と評価規準

単元の目標		
<p>「江田島市の将来のために、今の自分（たち）にできることとは？」を問い続けることを通して、様々な「人・もの・こと」が関わり合うことで、地域の魅力が生まれていることに気づき、地域の魅力を効果的に発信できる方法を考えるとともに、自らの今後や将来に向けての展望をもつことができるようにする。</p>		
単元の評価規準		
(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
①地域を盛り上げるために、様々な「人・もの・こと」が関わり合っていることに気付いている。 ②他教科等の学びをつなげ、目的に合わせて情報収集や情報発信を適切に実施している。 ③地域の魅力を再発見し、効果的に発信できたことが、探究的に学習した成果にあることに気付いている。	①江田島と自身の関わりから疑問や課題を見つけ、単元の課題解決に見通しをもっている。 ②課題の解決に向けて、地域の声を多様な手段で収集し、目的や種類に合わせて蓄積している。 ③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を比較し、関連付けて考えている。 ④相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	①課題解決に向け、自分の強みを生かすとともに、自分の役割に責任をもって探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②自分以外の意見や考えの良さを受け入れたり、活かしたりしながら他者と協力して課題を解決しようとしている。 ③探究的な学習を通して、等身大の自分なりの地域貢献に取り組もうとしている。

## 4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

生涯に関わって、地域と関わって生きる意義は何か？

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）

江田島市の将来のために、今の自分（たち）にできることとは？

【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）

- 長年住んでいる地域の方や移住者が考える「江田島の魅力」とは何か？
- アンケートやインタビューで見つけた「江田島の魅力」は、特別な価値をもつ魅力なのか？
- 「江田島の魅力」を島外の人に効果的に伝えるためには、どのような方法があるか？

5 単元構想図 (全52時間)

単元名

# Catch Your Dream!

国語  
「話し言葉と書き言葉」

社会  
「わたしたちの生活と政治」

行事  
「市議会アドベンチャー①」

社会  
「願いを実現する政治」

国語  
「私たちにできること」

国語  
「みんなで楽しく過ごすために」

国語  
「日本の文化を発信しよう」

国語  
「人をひきつける表現」

算数  
「資料の整理」

算数  
「データの活用」

国語  
「今、私は、ぼくは」

社会  
「日本とつながりが深い国々」

外国語  
「What do you want to be?」

Part1 「知る・分かる」 PROJECT① 『江田島の魅力再発見プロジェクト』

**課題設定**

○『江田島市統計資料』から、江田島市の現状と、地域が抱える課題を見つける。

○江田島市の将来のために、「江田島市の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

「このままでは故郷がなくなる!?!」という切迫感に焦点化。今の自分にできる『移住者促進』とは?

**情報の収集**

○「地域の人」と「移住者」にインタビューとアンケートを実施し、「江田島の魅力」を調べる。

「ふれあいサロン」と「藤三」に協力依頼。約200枚回収!

No.	氏名	年齢	性別	職業	魅力	備考
1	山田 太郎	65	男	無職	自然が美しい	無職
2	山田 次郎	68	男	無職	自然が美しい	無職
3	山田 三郎	70	男	無職	自然が美しい	無職
4	山田 四郎	72	男	無職	自然が美しい	無職
5	山田 五郎	74	男	無職	自然が美しい	無職
6	山田 六郎	76	男	無職	自然が美しい	無職
7	山田 七郎	78	男	無職	自然が美しい	無職
8	山田 八郎	80	男	無職	自然が美しい	無職
9	山田 九郎	82	男	無職	自然が美しい	無職
10	山田 十郎	84	男	無職	自然が美しい	無職

Part2 「つなげる・深める」 PROJECT② 『江田島の魅力深掘りプロジェクト』

**課題設定**

○「江田島の魅力」の中で、江田島の将来の発展に向けて、『深掘り』した方がよい魅力を整理し、『深掘りプロジェクト』の計画を立てる。

地域の人が『江田島の魅力』だと思っている「自然」と「人」は、自分達が『移住者促進』のために伝えられる魅力になるのかな? ⇒ 自分事にするために体験活動を!

**情報の収集**

○「深掘り」する魅力の事前知識を出し合い、調べるべきことを考える。

○実際に体験したり、話を聞いたりすることで、「江田島の魅力」を自分事として捉える。

マリンスポーツ体験・陶芸体験(「10サンジ」のご協力)・自給自足生活体験(「おきらくや」のご協力)を実施。

Part3 「広げる・生かす」 PROJECT③ 『江田島の魅力発信プロジェクト』

**課題設定**

○「江田島の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

年度当初に、教師が計画した流れではこの内容になるが、実際は少しずつ軌道修正しながらゴールに向けて動いている。ただ、「江田島の将来的な人口増加につながる活動をする」という目的と、「島内外に関わらず、出来るだけ多くの人に」という相手意識は変わることが無いように、事前に明確に示しておくことが大切。(教師側の教材研究は大いに重要になってくる。あとは、児童の興味関心に応じて臨機応変に…)

**情報の収集**

○江田島市役所や、地域おこし協力隊の方々から、情報発信で必要になる事項をインタビューする。

**整理・分析**

○「江田島の魅力」について、『新たに気付いたこと』や『改めて魅力に感じたこと』を、『江田島に移住する(したい)人』に伝えるという視点で整理する。

KJ法やフィッシュボーン図を使用。話し合う中で、体験活動そのものの魅力以外に、『体験活動を経て気付く江田島の魅力』があることを知る子どもたち。

**まとめ・表現**

○インタビューやアンケートの結果を「魅力発見ポスター」にまとめ、協力していただいた方々に周知する。

「アンケート回答をエクセルにまとめ、「テキストマイニング」を使用して分析。(結果は右図)地域の方々は、「豊かな自然」と「人情味あふれる人」を『江田島の魅力』として捉えているようでした。

○「江田島に移住する(したい)人」に向けて、「江田島の魅力」を**広報する資料**にまとめる。

伝える相手や目的を明確に。作りっぱなしにならないように、市役所の観光課や、「フウド(移住に関わる一般社団法人)」と連携しながら、発信に向けて準備を進める。

単元のゴール

江田島市の人口減少に歯止めをかけるために、  
江田島市の魅力を発信し、移住者を増やす取組をする。

「江田島人物図鑑」から、児童が魅力的だと思う人を探し、担任からアポ取り。全部で4名の方と、直接やり取りできました。

江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

マリンスポーツ体験

陶芸体験

6 本時の展開 (25/52時間)

(1) 本時の目標

思考ツールを使って「江田島の魅力」を整理し、活動の目的に応じて、どの内容を発信すると効果的に課題が解決できそうか考えることができる。(思考・判断・表現③)

(2) 学習展開

	活動の流れ (○発問・児童の反応)	・指導上の留意点 ●評価
学習の見通しをもつ	<p>1) 本時の学習課題を想起する。</p> <p>○前回の体験活動を終えて、どのようなことが印象に残っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシの解体を見て、お肉の試食をしました。</li> <li>・竹の食器作りもしました。</li> </ul> <p>○江田島の人口増加につなげるためには、経験して気付いたことの内、どのような内容を「江田島の魅力」として伝えることが望ましいですか。</p> <p>2) 学習課題に対する「めあて」を確認する。</p> <p>○「魅力」を伝える資料作りに向けて、今日はどこまでできていたらよいでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>めあて</b> 自給自足生活体験を通して感じられた「江田島の魅力」を見付けよう。</p> </div>	<p>・体験活動のワークシートや、活動中の写真を用いながら、活動の様子を思い出させるようにする。</p> <p>・本時の課題を明確にするために、「移住者を増やすため」という視点を示す。</p> <p>・本時の課題や学習の見通しを、一人一人が自覚できるようにするために、「プロジェクトの目的」を板書に残し確認できるようにする。</p>
情報の整理・分析	<p>3) 学習課題の解決に向けて活動する。</p> <p>○「フィッシュボーン図」を使って、魅力を整理しましょう。</p> <p>【グループの時間】</p> <p>○付箋に書いた意見を仲間分けしましょう。仲間分けをしたら、名前を付けましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>活動手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループ内で、記入した付箋の内容を比較し、仲間分けをする。</li> <li>2 仲間分けした付箋に、見出しを付ける。</li> <li>3 その他に紹介した方がいい魅力がないか相談する。</li> </ol> <p><b>見出し例</b></p> <p>「自然」「イノシシのおいしさ」「自分で生活」など</p> </div> <p>【全体の時間】</p> <p>○それぞれのグループで出した意見を比べましょう。これらの意見が、「移住者増加」に繋がる魅力になりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか体験できることではないから、伝えた方がいい。</li> <li>・実際に生活してる感じがするから、移住者にはよい経験になりそう。</li> </ul> <p>【グループの時間】</p> <p>○もう一度、グループで意見の見直しをしましょう。新たな魅力がある場合は、付箋を付け足しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に住むために、役立つことを伝えたい。</li> <li>・新しい仕事に就くことにもなりそう。</li> </ul>	<p>・事前に、「江田島の魅力」を付箋に記入させておく。</p> <p>・グループの意見を画用紙に付箋を貼って集約し、意見を比較検討できるようにする。</p> <p>・意見の集約が難しいグループには、体験で感じたことの相違点・共通点を見出す声掛けをする。</p> <p>・仲間分けの視点を確認しながら、「移住者増加」という目的を再確認し、新たな視点に気付かせるようにする。</p> <p>・魅力の共通項を、拡大したフィッシュボーン図に記入することで、全体の意見を集約していく。</p> <p>・意見の変化を比較できるように、新たな視点は、付箋の色を変えて記入できるようにする。</p> <p>・新たに出た魅力は、色を変えてフィッシュボーン図に記入する。</p>
まとめ・振り返り	<p>4) 本時のめあてに対する自己評価をする。</p> <p>○今日の学習で参考になったことや、自分の学習を振り返って感じたことを伝え合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に住むときのことを考えて話し合えた。</li> <li>・仕事になるという視点は思いつかなかった。</li> </ul> <p>5) 次時以降の学習への見通しをもつ。</p> <p>○今日の学習を踏まえて、次の活動は、どのようなことに取り組むとよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめる前に、インタビューした方がいいかも。</li> </ul>	<p>●思考ツールを使って「江田島の魅力」を整理し、活動の目的に応じて、どの内容を発信すると効果的に課題が解決できそうか考えている。(思考・判断・表現③)</p> <p>・次時への見通しをもつことが難しい場合は、本時でできなかったことを見付け出せるように声掛けをする。</p>

(3) 本時のルーブリック

目標	思考ツールを使って「江田島の魅力」を整理し、活動の目的に応じて、どの内容を発信すると効果的に課題が解決できそうか考えることができる。(思考・判断・表現③)
A	「移住者を増やす」という目的に合わせて、付箋に書き出した「江田島の魅力」を整理し、伝える相手を明確にしたうえで、新たな意見を考えている。
B	「移住者を増やす」という目的に合わせて、付箋に書き出した「江田島の魅力」を整理している。

(4) 板書計画

### 11/17 Catch Your Dream!

江田島の魅力ホンマでっか!?プロジェクト

単元のゴール 江田島市の人口減少に歯止めをかけるために、江田島市の魅力を発信し、移住者を増やす取組をする。

**めあて**  
自給自足生活体験を通して感じられた「江田島の魅力」を見付けよう。

魅力をまとめる視点

班ごとに意見整理をした画用紙

2学期までに体験した活動の写真、児童の振り返り等

竹で食器作り  
⇒ 試行錯誤の面白さ  
イノシシ肉  
⇒ 害獣だけど、食料に  
⇒ おいしい!

**移住者の決め手になる  
魅力はなに?**

※ 板書には、児童の思考の過程や、共有すべき課題等を中心に書き残すようにする。